

大阪船員保険病院だより

第49号 平成22年 9 月

大阪船員保険病院

〒552-0021

大阪市港区築港1-8-30

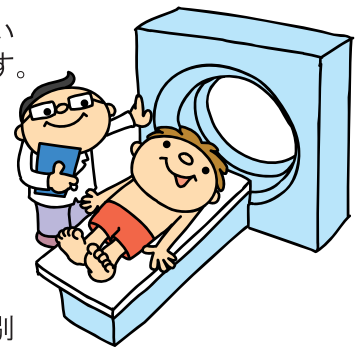
TEL06-6572-5721

放射線科紹介

医長 小林 美登利

主に画像検査とその読影、画像診断を利用した治療などを行っています。一般に「放射線科」というと、内科や外科といった診療科と同様な意味合いで、放射線診断、核医学、放射線治療という仕事に携わっている診療科です。

船員保険病院では、放射線科の仕事としてはCT、MRI、消化管検査などの読影といった画像診断が主体です。IVRといって画像診断を応用した治療なども行っています。患者さんに直接接する事は少ないのですが、画像診断は病気と深く関わっているため、重要な科の一つです。



胸部の撮影室や、バリウムを飲んだりするTV室、CT室など多くの検査室が並んでいるところも一般に「放射線科」と呼ばれます。診療科と区別するときには「放射線室」や「放射線部」などということが多いようです。船員保険病院では放射線科の仕事が放射線室の検査と直結しているため、放射線室と合わせて放射線科と標榜しています。

スタッフは画像診断専門医が2名、診療放射線技師が10名、事務職員が1名で、外来の看護師と協力して、適切な検査が円滑で迅速に行われるように努力しています。ちなみに検査にたずさわるスタッフは患者さんからは「レントゲンの先生」と呼ばれていますが、正しくは『診療放射線技師』と言います。放射線科ではいろいろな検査をしていますが、今回は一般撮影について簡単に説明します。

一般撮影

言葉としては聞き慣れないかもしれませんが、これは放射線科で一番多く扱われる検査で、X線を使った撮影の事です。よく「胸の写真」や「肩のレントゲン」といわれる検査の事です。

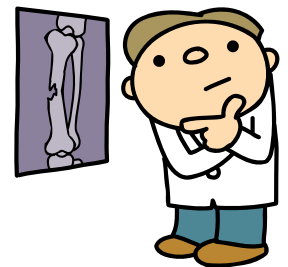
正しくは『胸部一般撮影』、『肩関節一般撮影』と言います。

最近、CTやMRIなどの画像診断の装置の進化はめざましく、昔からある一般撮影は影の薄くなってきた印象があります。

実際、頭部打撲後の単純撮影などはほとんどCTに置き換えられています。

しかし、胸部や腹部を撮影すると患者さんの状態を一目で把握することができますし、簡単に撮影できるので経過観察には非常に役立ちます。

胸部や骨、関節領域ではまだまだ重要な検査で、**肺の病気、心血管系の病気を評価するのに胸の写真は必ず必要**です。



一般撮影は体を通じたX線によって画像ができます。空気はX線を通させてしまうので、写真では黒く写ります。肺は空気で膨らんでいるので黒っぽくみえます。骨はX線を強く吸収して通過しません。この部分は白くみえます。筋肉や内臓といったその中間の部分は灰色になります。

通過したX線を画像にするためにはカセットやIPという長方形の板を使用します。

骨や関節ではこの板を撮影する部位にできるだけ密着させます。その方がくっきりとみえるからです。胸部では立てたカセットに胸の前側をくっつけて、肘を少し外側に張って撮影します。こうすると心臓の影が実際に近いくらいになって、肩甲骨が外側へずれるので肺との重なりがないように撮影できるのです。肺は立った状態では寝ているときよりも足側へ伸びているのですが、**横隔膜との重なりを少なくするために息を吸って撮影**します。腹式呼吸がよいのですが、**大きく吸いすぎると体全体がねじれて写る事があるのでほどほどに**。

腹部の撮影では仰向けに寝た状態で息を吐いて撮影します。腸管のガスの様子くらいしか判らないのですが、経過観察が簡単にできますし、石灰化なども確認できます。

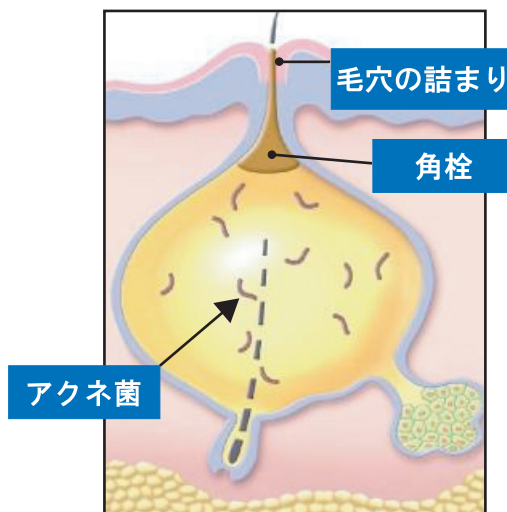
立って撮影するのは腸の動きが悪いときなどの異常なガス像を見つける特殊な場合ですが、今ではCTの方がよく使われているようです。

にきび（痤瘡）について ～ 現状と新たな治療 ～ 皮膚科部長 西井 芳夫

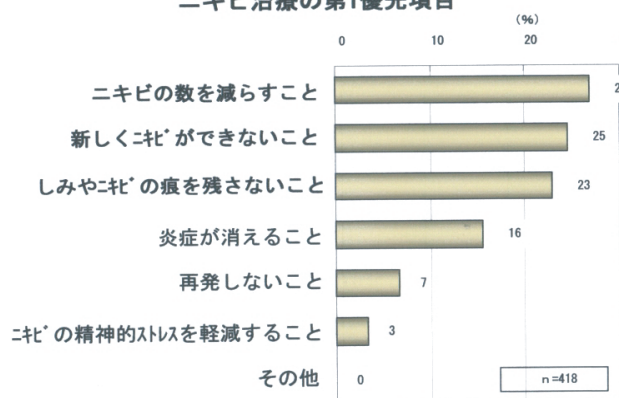
にきびは正式名を尋常性痤瘡（ざそう）といい、古くは平安時代の書物にも登場するほど身近な皮膚疾患の一つです。

毛穴の入口（毛孔）が角質（角栓）によって詰まることでアクネ菌が毛穴で増殖し、炎症を引き起こす疾患で、発症の平均年齢は23歳前後で、男性は10代後半，女性は10代後半～20代前半にかけてがピークといわれています。

顔面に起こるため、患者に与える精神的な影響は大きく、より適切な治療が求められています。



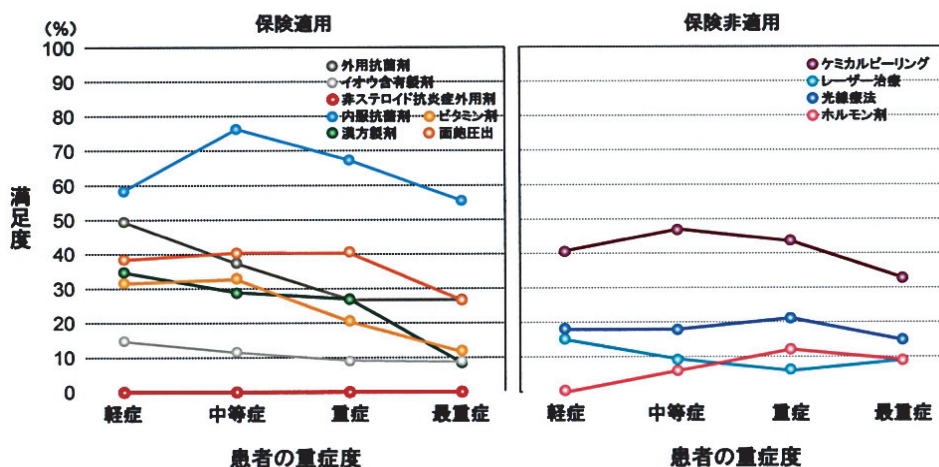
にきび治療の第1優先項目



アンケート（患者回答）によるにきびの「治療の優先順位」としては、

- 1 にきびの数を減らし、再発させないこと
- 2 にきび痕を残さないこと
- 3 治療によってストレスを減らして欲しい等の希望があり、これらを満たすことが大事となります。

しかしながら本邦では最近まで、にきび治療で医療機関の外来に来られる方は、実際のにきび患者の14%程度と少なく、にきびのような市販の化粧品や医薬品を求める方がほとんどでした。

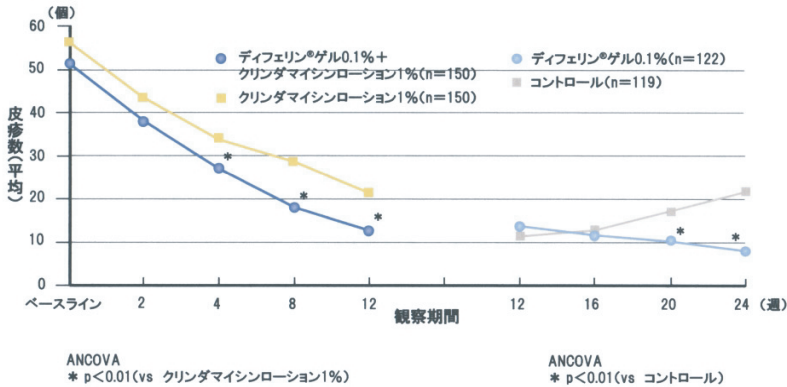


また、これまでの保険適用のくすりも保険診療外の美容施術なども共に満足のものではなく（医師アンケートによる）、現行のにきび治療に対する医師の満足度は、内服抗菌薬以外の治療では低いものでした。

【最近のニキビ治療】

現在、当科においては、2008年に保険適応になった「レチノイド外用剤」を治療に組み入れています。「レチノイド外用剤」は従来のアクネ菌を抑える薬剤とは違い、ニキビの根本的な原因である「毛穴の詰まり」を取り除くことが出来る薬剤です。海外ではすでに広く使用されている薬剤であり、本邦でも同年に学会が定めたガイドラインによって、「面皰（めんぼう）」と呼ばれる軽症のものから丘疹、膿疱などの炎症性の重症ニキビまで広く推奨される薬剤となっています。

●皮疹数の推移：総皮疹



この薬は従来の治療と組み合わせることで効果的で、左図ではアクネ菌を抑える外用抗菌剤と併用することで効果的にニキビの数を減らすことができます。また、レチノイド外用剤単独で再発を防ぐことも可能です。

以下、当院での治療成績です。

症例1. 16歳男性



2009年3月10日

2009年4月14日

症例2. 21歳女性



2009年2月26日

2009年4月9日

症例3. 17歳男性



2009年3月16日

2009年3月30日

「面皰」「炎症性のニキビ」いずれも2週間～1ヵ月半程度で従来の治療法以上の改善を見せています。

最後に、ニキビを放置すると最後には「瘢痕化（ニキビ痕）」してしまうこともあります。

ニキビ治療は自己判断での治療ではなく、早めに医療機関で治療開始することをおすすめします。

お知らせ

8月末日をもちまして

耳鼻咽喉科が一時休診いたします。

登録医紹介

高血圧、糖尿病から腰、膝の痛み、頻尿まで・何でもご相談ください!



院長 北村 雅哉

こんにちは、院長の北村雅哉です。港晴で3代目の内科医院ですが、私自身は元々大学病院で泌尿器外科をやっており、内科から外科一般まで幅広く一次対応、そして必要な場合には船員保険病院をはじめ多くの基幹病院に迅速、正確な紹介ができます。さらにそれをおぎなうよう放射線科、整形外科の一流の設備、非常勤の先生をそろえ、どんな疾患でもとりあえず相談できるオールマイティーな医院を目指しております。
“全身のCT、胃・大腸透視などがん検診もお任せください。”

北村 医院

高血圧、糖尿病から腰、膝の痛み、頻尿まで



日常の痛みや
ストレスに
最新鋭のウォーターベッド!
注目の水圧式ベッド型
マッサージ器です
異次元のマッサージ効果を
お試しください

※土曜午前診は整形外科専門医による特診を実施しています。

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	8:45~12:00	○	○	○	○	○	○ 整形
午後	16:45~19:30	○	○	○	/	○	/

診察科：内科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科
TEL：06-6574-2288
住 所：大阪市港区港晴2-4-4 (テルメ電宮温泉ウラ)

糖尿病、高脂血症、高血圧症はお任せください。

金谷 内科医院

皆様こんにちは。八幡屋2丁目、港晴小学校の正門前で開業している金谷です。近くには八幡屋商店街があり、八幡屋バス停から、歩いて4~5分の距離です。産婦人科の奥田先生が開業されていたものを、閉院後2年で、内科・放射線科として開業して、早、6年余となり、今でも奥田先生の患者さんであった方が、新規患者としてお見えになる事が度々あります。私は、勤務医時代は老化・老年病に携わる病院での勤務が長く、多くの患者さんから、その患者さんにだけ起こっている複雑な病態を診療させて頂きました。医師の仕事の一部は、優秀な他の先生方からの学術知識の吸収と専門書の読書及び理解です。昨今は、医療の分野においても、技術革新が著しく、「i p s細胞」や「インクレチン治療」や「テロメアメンテナンス」といった、理解するのも非常に難易度の高いものが多々あります。元より、浅学非才といった実力でしかない私ですが、なるべく多くのものを、私の医院に来院される患者さんに対し還元したいと考えています。船員病院さんは私の医院の近くにあり、内科・放射線科の先生は言うに及ばず、どの科の先生も、又事務方や他のコ・メディカルの方々も、非常に優秀で頼りがいのある方が多くおられます。これからも、当院通院中の患者さんの安全・安心の為に仲良くしていけたら良いなと考えています。



院長 金谷 英夫

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:30~12:30	○	○	/	○	○	○
午後	16:30~18:30	○	/	○	○	○	/

診察科：内科、放射線科
TEL：06-6571-5728
住 所：大阪市港区八幡屋2-15-21 八幡屋ハイツ1階

